

警報時報

日八十月
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 警報時報社
一部金銀紙 一ヶ月金銀紙
廣告料 一行十二字五十五
日刊(日曜祝祭日)週日休刊

四倉町點呼場に 咲いた軍國佳話

覺悟を決めた遺言狀に 執行官もホロリと涙

四倉町小學校庭で執行されることばしき事なりと襟を正した四倉、大浦、草野の一町してこの覺悟を激賞した。二ヶ村の簡點呼は事變下を聞いた參會者は何れもこのことと各町村有力者、雄々しき覺悟に感激して涙國防婦人會員、消防組、青くまのものがあつた、同年團員等多數參觀の下に執り未教育補充兵で大浦村新行官小林騎兵少佐は勿論補妻壽夫君も何時でも千人助官も參會者も緊張裡に第針を奉公袋に入れて置いた一會場の行事を終了したが、非常時局に於ける軍人呼名点呼の際草野村新妻茂の覺悟を録えられてゐる。孝君は執行官より「態度嚴に一層感激した、さらには第二會場に於て軍人に賜は族として英靈をしてはばか正、言語明瞭」と賞められ、場内に光彩を放つたが、後奉公袋内容檢閲になり未教育補充兵阿部忠義君の奉公袋の内容中に嚴封せしものあるを小林執行官が発見開封すると遺言狀と認めて「自分は何時召集することになるかも知れぬ身勿論お上に捧げし休であるから只兩親に對し孝行の充分せざるを詫言致し、私若し戦死の場合あつても決してお嘆きな以下記せし如く云々」と切實覺悟の數々を熱記し、なほ「雀さへ朝に忠と鳴くものをなぞで忠義を樹てごらまし」の歌さへ書いてあつたので大日本帝國の軍人村地内を徘徊中の舉動不審として常にこの覺悟こそよ

八十圓入財布を盗んだ 犯人は十七の少年

プール海水浴場荒し

七月十四日午後二時頃内郷村白水入山炭礦川平坑坑村高坂警察署グラウンドで警中夫佐藤清一(十七)で右犯行野球部コーチ兼元來町元を自白した外警炭金坂ア一東北學院野球選手戸井田勝ルで前後二回、小名濱海水元君の洋服から現金八十五浴場前後數回に亘り現金圓在中の財布を窃取した犯本類専門の窃盜を働いた事案中の處十七日午後三時同村地内を徘徊中の舉動不審として常にこの覺悟こそよ

中野氏寄附 平市

父の遺志によつて五十五圓を十八日平市軍事後援會に寄附

續々と集る 毛布の献納

高橋市議が十枚

平市では既報の如く第一線國防費に献金した男、後備役上等兵齋藤長治將兵に防寒具として毛布を献納する事となり青沼市長が率先して献納し一般に募集中であるが十七日には白江名町では二十三日が國防銀町市會議員高橋松松氏が婦人會創立日に當るので同十枚の大量献納を申し出で日午前十時から同町小學校に總會を開き今年度の事業方針その他を附議終つて福島縣區區附高橋大尉の時局島縣隊演習を聞き同町諏訪神社に於て出征兵の武運長久祈願日履で著へた五圓を十八日祭を執行する

江名國婦 創立紀念日

江名國婦創立日二十三日が國防銀町市會議員高橋松松氏が婦人會創立日に當るので同十枚の大量献納を申し出で日午前十時から同町小學校に總會を開き今年度の事業方針その他を附議終つて福島縣隊演習を聞き同町諏訪神社に於て出征兵の武運長久祈願日履で著へた五圓を十八日祭を執行する

平神橋の在駐所 敷地買収の協議

平市では市制の實施に伴つて市内平神橋附近に巡査駐在所を設置する事となり過般本田平署長と共に敷地の下檢分を行つたが愈々敷地買収に取かゝる事となり來る廿二日午前十時から市會議事堂に打合せを行ふが市では今年度豫算にこれが新設費として千圓、指定寄附五百圓を計上した

支那事變 國債賣出し

支那事變國債は二十二日か賣出されるが要項左の如くである

- △支那事變國庫債券 一月廿二日 昭和十三年八月廿二日
- △償還期限 昭和三十年

全く殺人的暑さ

銃後の皆々様に感謝

平商校 麻原吉五郎氏通信

午前七時頃頃迄激戦を續け敵を撃退して同地を占領確保翌日から敵を追撃した。その時同地は既に他部隊に於て占領しあり

病氣で働らけないと 娼妓自廢の願ひ

平署の斡旋で解決

十七日平署に年若い女が來り泣きながら「病氣で働けないから助けて下さい」と訴へ出たので係官が事情を聞きと名古屋市中村區大門町遊廓娼妓某(二二)で病氣が悪くなつたので今月初め前借千二百圓を踏んで飛び出し好間村の質兒方に身を寄せて附近炭礦で働いてゐたもので平署では女の跡を追つて來た抱主側の人を呼び出し懇談した結果女を抱主方に返し相談の上女を郷里に返し前借金は月賦浪のため船が顛覆したので体が未だ發見されない

傳馬船顛覆し 小年行衛不明

江名町坂本吉郎(三六)は實次男義雄を漸やく救助續い兄春吉氏長男正一(十一)及び菊男を救はうとしたがこ自分の長男菊男(七)次の時既に姿が消えて見當ら男義雄(六)の三名を乗せ自分も疲れ危険に瀕して十六日午後四時頃傳馬船でゐるのを附近の傳馬船が發同町折戸沖沖合で漁業中激見救助に向つたが少年の死を體は未だ發見されない

暑中であるが去る十三日同町小學校篠原校長宛に金五圓を贈つて來た

月廿二日	償還期限 昭和三十年
十一月一日(十七年三ヶ	圓を贈つて來た

單利三分六厘八毛

- 一、郵便局賣出し價格 二十五圓は二十四圓五毛、五十圓は四十九圓、百圓は九十八圓、五百圓は四百九十圓、千圓は九百八十圓
- 一、郵便局賣出し期間 昭和十三年八月二十二日まで
- 一、支那事變特別國庫債券 發行日 昭和十三年八月二十日

發行價格 額面十圓につき九圓八十錢

額面金額種類 十圓一種

郵便局賣出し價格 十圓券九圓八十錢

郵便局賣出し期間 昭和十三年八月二十二日から同月九日二日まで

徒弟募集

加納活版所

暑中御伺

衆議院議員 大浦村 比佐村 中木村 御比 佐村 昌治 平治

てこ、で暫らく警備して居ました私共は更に特別の任務を帯びて〇〇方面に向ひ七月十七日任務を終了し盧州に入城本隊に合し警備にいてゐます。何れ又近いうちに〇〇方面に進軍し徹底的滅滅戦をする事と今から準備をすすめてゐます。然し相當の暑さにて行軍も容易ならず事と存じます。謝してゐます

張重二柄新
大ノ見切ソル
ソルヤ
電一四〇番
¥1.50—¥4.50

スピート時代に
パーマネント
健康美時代に濃潤ミ
オゾン美顔術
婦人御洋服に
パーマネント
電話 六七八 全部 四外三
自宅 五二五 金
平市驛前
水野化粧院

元東京市教育局學校衛生技師
醫學博士 岡田道一先生著
育兒法と牛乳の用ひ方
定價一部十錢ですが赤らやんのあるお母様
方に無料で差上げ度いと思ひます
御希望の方は左記へ御申込下さい
平市鎌田町
岡田ミルクプラント
電話 五一 番
配給所 湯本、綴、四倉

耳鼻咽喉科専門
鈴木醫院
醫學士 鈴木正男
平市田町藤田女學校前
(電話五八番)
(入院のお需に應ず)
自炊の便あり

岩屋
福島縣平市
電話(營業部専用)一〇番
電話(一般用)二七番
振替東京一九七五五番
明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

平市田町 (電話五二三番)
高久病院
院長 高久忠
副院長 赤羽清
藥局長 佐竹菊雄
內科小兒科
外科花柳病科
耳鼻咽喉科
(看護婦募集)

食事 喫茶 酒場
イウキサロン
町田・平 (二五三電)
男給の店

花柳病科 專
泌尿器科 專
皮膚科 專
診療 午前八時ヨリ
午後九時マデ
時間 午後九時マデ
平市田町(電話六九二)
江尻醫院
醫學博士 江尻伊三郎
隨入院

三井タクシー
平市二丁目
電話六八五番

耳鼻咽喉科
大和田醫院
平市南町(電話一七〇番)
入院自炊の便あり

產科 婦人科 外科 藥局
院長 木村寅次郎
醫學博士 內木宗八
藥劑師 大岩俊雄
平市新川町十九
木村病院
電話一六四番
◇看護婦募集
入院隨意
病室完備

三百年の歴史を有する
家傳靈藥
消食散
一名かけの藥
代理店 平市大町 丸龜商店
電話一三三番

產科 婦人科 花柳病科
井坂醫院
平市田町(電話五五九番)

北川外科
內臟外科 泌尿器科
レントゲン科
醫學博士 北川芳夫
技師 三浦常保
平市新川町二七
電話四六四番